

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																							
		事業担当課		農村整備課																							
事業名	経営体育成基盤整備事業(面的集積型) <small>しかがいぬま</small> (鹿飼沼地区)		補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																					
施行地名	<small>とおだぐんわくやちよう おおさきしたじり</small> 遠田郡涌谷町, 大崎市田尻地内			管理主体	涌谷町, 大崎市, 旧迫川右岸土地改良区																						
根拠法令	土地改良法																										
事業概要	事業目的	<p>本地区は、北側を東西に流れる一級河川旧迫川と東側を南北に走る国道346号線に囲まれた水田地帯であり、大崎市田尻の東部及び涌谷町の北部に位置している。水稻を中心に畜産、施設野菜等を加えた複合経営が行われている地域であり、集落営農組合等の地区内担い手は、耕地条件が悪い中で転作に取り組む等、農業経営に意欲的な地域である。現況のほ場は低平な水田地帯であり、昭和初期に旧耕地整理事業が実施されているが、10a区画と小区画で、農道幅員が狭小であることから大型機械の導入が困難で、多くの労力を必要とし生産性が低く近代的農業経営に大きな支障をきたしている状況にある。</p> <p>また、末端の水路は用排兼用の浅い土水路で、暗渠排水も老朽化しているため耕地の汎用化が図られず、転作作物の生産性や品質が低く耕地が点在しており、ブロックローテーションに取り組めない状況である。</p> <p>そこで、本事業により水田の用・排水条件、区画形状及び土壌条件の改善等を行い、農地の汎用化を図ると共に、水田の総合利用・高度利用の基盤を作成し、経営体育成による生産性の向上および転作等の着実な実行が確保され、効率的な近代営農形態となるほ場条件の整備に積極的に対応するものであり、農業構造の改善に資することを目的とする。</p>																									
	事業内容	区画整理工 A=380.9ha																									
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 (受益者)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>内用地費</td> <td>[50 %]</td> <td>[27.5 %]</td> <td>[10 %]</td> <td>[12.5 %]</td> </tr> <tr> <td>40.90億円</td> <td>0.00億円</td> <td>20.11 億円</td> <td>11.59 億円</td> <td>4.09億円</td> <td>5.11億円</td> </tr> </table> <p>※1：全体事業費には工事雑費を含み、事務費は含まない。 ※2：工事雑費については国負担分を県が負担。</p>				全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他 (受益者)		内用地費	[50 %]	[27.5 %]	[10 %]	[12.5 %]	40.90億円	0.00億円	20.11 億円	11.59 億円	4.09億円	5.11億円
	全体事業費		費用負担内訳																								
国			県	市町村	その他 (受益者)																						
	内用地費	[50 %]	[27.5 %]	[10 %]	[12.5 %]																						
40.90億円	0.00億円	20.11 億円	11.59 億円	4.09億円	5.11億円																						
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度～平成31年度（9年間）</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成一年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成23年度～平成31年度（9年間）			用地買収着手予定年度	平成一年度	工事着手予定年度	平成25年度															
事業期間	平成23年度～平成31年度（9年間）																										
用地買収着手予定年度	平成一年度	工事着手予定年度	平成25年度																								
施設管理の予定	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>施設項目</td> <td>道路工</td> <td colspan="2">用水路工・排水路工・揚水機場</td> </tr> <tr> <td>管理区分</td> <td>涌谷町, 大崎市</td> <td colspan="2">旧迫川右岸土地改良区</td> </tr> </table>				施設項目	道路工	用水路工・排水路工・揚水機場		管理区分	涌谷町, 大崎市	旧迫川右岸土地改良区																
施設項目	道路工	用水路工・排水路工・揚水機場																									
管理区分	涌谷町, 大崎市	旧迫川右岸土地改良区																									

	上位計画等																														
	<p>○上位計画</p> <p>以下の計画において、優良農地として、大区画によるほ場の早期整備を推進することが位置付けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 涌谷農業振興地域整備計画 (H14年度) ・ 大崎(旧田尻)農業振興地域整備計画 (H12年度) ・ 涌谷地域水田農業ビジョン (H20年度) ・ 大崎(旧田尻)地域水田農業ビジョン (H16年度) ・ みやぎ農業農村整備基本計画(宮城県) (H18年度) 																														
事業の必要性	<p>事業を巡る社会経済情勢等</p> <p>○社会経済情勢</p> <p>基幹産業は農業で、水稻を中心とした複合経営で農業の確立を目指している。第二種兼業農家の割合が高く、優良農地の保全と将来を担う集落営農組織及び法人の育成が必要である。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>涌谷町・大崎市では、「米政策改革大綱に対応した水田農業モデルづくりプロジェクト」事業により、集落営農組織が4組織設立され、農用地利用集積をより推進するため基盤整備が強く望まれている。</p> <p>(1) 関係市町村、受益者の合意状況 涌谷町、大崎市、旧迫川右岸土地改良区及び受益者と合意に達している。</p> <p>(2) 営農支援体制 涌谷町担い手支援総合協議会(涌谷町, JAみどりの, 県, 改良区): H19年設立 大崎市田尻農業振興協議会(大崎市, JAみどりの, 県, 改良区): H18年設立</p> <p>(3) 地元の事業推進体制 鹿飼沼地区活性化委員会: H19年設立</p>																														
	<p>事業効果</p> <p>○想定される事業効果</p> <p>(1) 地域農業の中心となる担い手農家の育成が図られる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別担い手農家</td> <td>9戸</td> <td>9戸</td> </tr> <tr> <td>農業生産法人</td> <td>1組織</td> <td>7組織</td> </tr> <tr> <td>集落営農</td> <td>4組織</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 営農機械の大型化及び経営規模の拡大により、生産コストが低減する</p> <p>ア) 担い手経営体の地区内経営面積が農地集積により増加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>161.0(83.6)ha</td> <td>263.9(263.9)ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率</td> <td>41.7(21.7)%</td> <td>69.3(69.3)%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内は面的集積面積(1ha以上の連坦団地)</p> <p>イ) 地区内農家の労働時間が大幅に減少する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">労働時間</td> <td>水稻</td> <td>20.7hr/10a</td> <td>14.9hr/10a</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>7.4hr/10a</td> <td>2.7hr/10a</td> </tr> </tbody> </table>	項目\区分	現況	計画	個別担い手農家	9戸	9戸	農業生産法人	1組織	7組織	集落営農	4組織	—	項目\区分	現況	計画	農地集積面積	161.0(83.6)ha	263.9(263.9)ha	農地集積率	41.7(21.7)%	69.3(69.3)%	項目\区分	現況	計画	労働時間	水稻	20.7hr/10a	14.9hr/10a	大豆	7.4hr/10a
項目\区分	現況	計画																													
個別担い手農家	9戸	9戸																													
農業生産法人	1組織	7組織																													
集落営農	4組織	—																													
項目\区分	現況	計画																													
農地集積面積	161.0(83.6)ha	263.9(263.9)ha																													
農地集積率	41.7(21.7)%	69.3(69.3)%																													
項目\区分	現況	計画																													
労働時間	水稻	20.7hr/10a	14.9hr/10a																												
	大豆	7.4hr/10a	2.7hr/10a																												
事業の有効性																															

事業の有効性

ウ) 地区内農家の生産コストが減少する。

項目\区分	現況	計画	
生産コスト	水稻	148千円/10a	70千円/10a
	大豆	161千円/10a	47千円/10a

エ) 地区内の機械台数が減少する。

項目\区分	現況	計画
田植機	177台	140台
トラクター	205台	119台
コンバイン	119台	81台

(3) 水田の汎用化により土地利用型作物の拡大が図られ、耕地利用率が向上する。

ア) 主な作物の作付け面積

項目\区分	現況	計画
水稻	315.8ha	250.6ha
大豆	1.2ha	28.0ha
小麦	5.4ha	28.1ha

イ) 耕地利用率

項目\区分	現況	計画
耕地利用率	95.2%	100%

事業の有効性

関連事業の概要・進捗状況等

項目	工期	進捗率
国営かんがい排水事業 旧迫川	昭和39年～昭和53年	100%
県営かんがい排水事業 旧迫川	昭和43～平成元年	100%
県営湛水防除事業 小里	平成4年～平成8年	100%

代替案との比較検討

本計画地区は、昭和初期に10a区画に整備されたものの、農道が狭く分散されたほ場が多くあり、水路は土水路で未整備のため排水不良が多く、近代営農に著しく支障をきたしている。

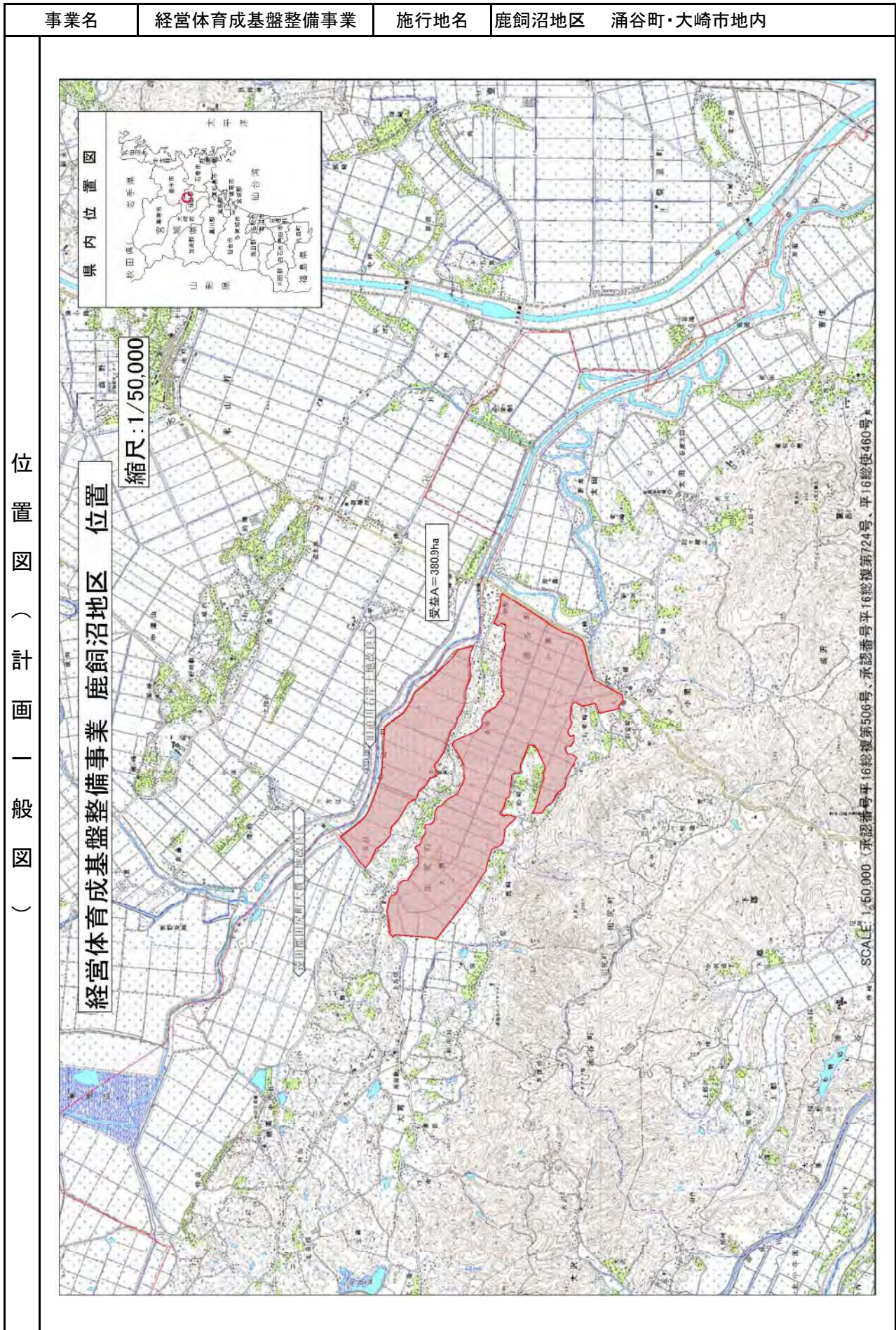
また、地区内耕作者の高齢化が進んでおり、地域の担い手の育成が急務となっているため、経営体育成基盤整備事業の導入により農地の汎用化を図り農地の集積を行い担い手の育成を図る事が最も効果的である。

コスト削減計画

- ・現況区画（道・水路配置）を活用した再区画方式を採用し、コスト削減を図る。
- ・現況橋梁を利用し新設橋梁の設置数を減少させる。

事業の効率的性	費用対効果										
	根拠マニュアル：新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成19年版） （農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修） 社会的割引率： 4 % 便益算定期間： 49年 基準年：平成22年										
	総費用 現在価値 (C)	6,402,824千円									
	当該事業による費用	3,333,660千円									
	その他費用(関連事業等)	3,069,164千円									
	年総効果(便益)額	475,118千円									
	作物生産効果	207,415千円									
	営農経費節減効果	288,421千円									
	維持管理費節減効果	▲20,738千円									
	耕作放棄防止効果	20千円									
	評価期間(工事工期+40年)	49年									
	割引率	0.04									
	総便益額(B)	8,155,388千円									
	総費用便益比(B/C)	1.27									
環境への影響と対策	地域指定状況等										
	本地区は、涌谷町・大崎市が策定する「田園環境整備マスタープラン」において、環境配慮地区として位置づけられている。										
総合評価	影響と対策										
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事前に水生生物を保護し、工事後再放流する。 ・幹線排水路内に流れの緩い箇所（ビオトープ）を設け、水際には植性の繁茂する箇所を設置することで、環境に配慮する。また、魚道を設け排水路と水田の連続性を確保する。 ・景観配慮として、転作田に蓮を植え付けする。 										
総合評価	事業箇所評価結果										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4位／7</td> <td>4箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)		—	4位／7	4箇所		
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)		—									
4位／7	4箇所										
対応方針	事業実施										

事業概要図



事業箇所状況等

事業名	経営体育成基盤整備事業	施工地名	鹿飼沼地区 涌谷町・大崎市 地内
-----	-------------	------	------------------



鹿飼沼地区の農地は現在10a区画が中心となっており、効率的な営農に支障がでていることから、大型機械の導入が進まず、効率的な営農を推進するうえでの障害となっている。



地区内の農道の幅員が狭く、効率的な営農に支障が生じていることから、ほ場整備を実施による農道の整備が求められている。